



ワークショップ開催報告

令和7年度は、全3回のワークショップを開催し、過ごし方から考えたアイデアを取りまとめ、基本設計を策定していきます。

今回のワークショップでは、昨年度共有できた具体的な整備イメージをふまえ、公園での過ごし方について、参加者同士で意見を出し合い、公園の将来像を共有しました。

▶開催日時／2025年10月18日(土) 9:30～12:00

▶開催場所／ホテルカデンツァ東京 地下2階 大宴会場ラ・ローズ

▶参加人数／16名

▼ワークショップの内容

「誰が・いつ・どこで・何をして過ごすか」を考える



全体での主な意見のまとめ

公園全体に関する意見

- 歴史を感じる地形、生物に触れ合える緑、川辺・水辺に親しむ
→この地ならではの歴史・自然・水辺の体験ができる機能
- 散策・ランニング、水遊び・川遊びで体を動かす
→歩きながら景観の変化を楽しめる動線や、ひと休みできる施設
- 園内の樹木・自然や広々とした空間を活かして遊ぶ
→自然の恵みを使った遊び、虫取り、木のブランコ、ボールを使っても怒られない場所、運動能力を伸ばすアスレチック
- 災害があっても園内で安心してられる
→休憩所などの施設



A 管理所・エントランス広場での過ごし方

- 気軽に立ち寄れて多目的な利用ができ、園内の利用を促進する
→多世代が思い思いに過ごすことができるフリースペース、園内を見渡す半屋外スペース、情報案内
- インバウンドの人や公園来園者がエントランス広場で気持ちよく過ごす
→くつろぎや待ち合わせの滞留空間、ワクワク感の演出、イベントができる賑わいの空間

B 草地広場・修景池での過ごし方

- 遊び、憩い、趣味、体験、学習など多様な過ごし方ができる
→広がり大切にしながらも日陰のあるオープンスペースと多目的に使える屋内空間



C 石神井川・水辺での過ごし方

- 水辺に親しむ過ごし方ができる
→季節で違う楽しみ方がある水辺、川遊び・水遊び、生物とのふれあいの場



D 園内の花や花畑での過ごし方

- 花の景観を楽しむ過ごし方ができる
→花を巡る楽しさ、綺麗に維持できる規模、持続的に美しく管理できる花畑



E 賑わいを生む過ごし方

- 賑わいの記憶を継承する
→お祭りやイベントの企画・開催。コンサートをしたり、コスプレを楽しんだり、アニメの地として浸透させる（音対策のため谷の窪地で実施）



次回（第2回）は、WS①で集まった「過ごし方」を手がかりに作成した基本設計検討案をご説明して、皆さまの感想をお聞きたり、より具体的な過ごし方について議論を深めていきます。

